調査の企画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査テーマ |  |  |
| 調査目的（明らかにしたいこと　予想される結果） | 社会調査としての意義 | 到達点をイメージし，経路を考えることが重要 |
| 調査の名称 |  | わかりやすい名称を |
| 調査主体・組織 |  | ここに学番・氏名 |
| 調査方法 | □全数調査□標本調査　　□面接調査　□郵送調査　□電話調査　□留置調査　　□集合調査　□インターネット調査（Web調査） | 今回は質問票による調査を体験 |
| 調査対象（母集団） |  | どの集団の特長を明らかにするか |
| 抽出（サンプリング）法 | □無作為標本抽出　□単純無作為抽出法 □系統抽出法(等間隔抽出法）　□集落抽出法 □層別抽出法　□２段抽出法 □層別2段（層化2段）抽出法□有意標本抽出　□機縁法（紹介法） □応募法　□典型法 □インターセプト法　□出口調査 □デルファイ法　□割り当て法 | どの方法で，実際に回答してもらう人を選ぶか |
| 費用 |  |  |
| 実施計画（スケジュール・時期） | 6/136/176/206/246/277/17/47/87/11（休講）7/157/187/227/257/298/18/5 報告会 |  |
| 質問内容と分析法方法 |  | おおまかな案得られたデータをどう処理するか（目的に照らし合わせて） |
| その他 |  |  |

チェックポイント

□ 母集団（＝社会情報学科の学生）から，100人分の回答を集めることができたか？

□　選択肢回答では，単一回答，複数回答，順位回答，段階選択のうち，最低3つのタイプを含めたか？

□ 枝分かれ質問により，一部の人しか答えられないような質問は作っていないか。

□ 数値で回答する質問を必ず１つ以上入れたか？

□ 自由回答は，後処理の関係から数値による回答のみとしているか？

□ 調査票に直接回答するものとし，A4サイズ1ページに納まっているか（質問の数は，おおむね7問から10問程度か）？

　　　問1 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問2 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問3 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問4 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問5 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問6 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問7 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問8 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問9 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］
　問10 ［ 単一回答 ・ 複数回答 ・ 順位回答 ・ 段階選択 ｜ 数値 ｜ その他］

□ 集計に，可視化（グラフ）や複合集計，多変量解析による集計を取り入れることにしているか（Excelによる単純集計に終わらず，「データ解析システム」や「行動計量学」で学んだ集計を積極的に利用することにしているか）？

□ 計画書，依頼文，調査票，報告書は，個別に作成したか？

□ 提出物（mylogに提出）

依頼文，調査票（質問紙），計画書
報告書 （＋ 作成した電子ファイルすべて）